



市議会での承認を経て、松川正則氏が引き続き副市長に任命されました。松川副市長は「議会での全会一致の承認を受け、改めて職責の大きさを実感している。市民が住んでよかったと思えるまちづくりに取り組んでいきたい」と抱負を語りました。任期は平成32年2月29日までです。



地震・津波避難訓練が西海岸の8地域(伊佐区、真志喜区、大山区、宇地泊区、大謝名区、大謝名団地、上大謝名、嘉数ハイツ)で実施されました。東日本大震災の教訓を踏まえ、地震・津波に対する防災意識の啓発や津波避難体制の向上を図ることを目的とした訓練で、多くの市民が参加して行われました。



JAL PRESENTS第13回2016琉球海炎祭が今年も宜野湾トロピカルビーチで開催されます。これに先立ち、実行委員会(松谷秀夫実行委員長)のみなさんが市役所を訪れました。松谷実行委員長は「海炎祭によって観光客も増えた。これからも海炎祭をより魅力的なイベントにしていきたい」と抱負を語りました。



第8回沖縄国際映画祭が4月21日～24日の日程で開催されることを受けて、実行委員会のみなさんとガレッジセールのカズノブさんが市役所を訪れました。宜野湾市では、4月23日(土)・24日(日)に海開きイベントと小学校3～6年生対象のワークショップが行われます。



市と社会福祉法人輝福社会(佐喜眞祐輝理事長)との間で、宜野湾市立野嵩保育所の移管に係る契約が締結されました。同会は市内で長年保育園を運営しており、更なるサービスの向上が期待されています。野嵩保育所は4月1日から輝福社会による運営に移行します。



3月1日から7日までの期間、「春の火災予防運動」を実施しました。その一環として、平成23年6月からすべての住宅に設置が義務付けられている「住宅用火災警報器」の設置普及のため、広報マラソンを実施しました。大切な家族や家を守るため、設置していないご家庭は、早めに設置しましょう!



市婦人連合会(新城道子会長)は、環境美化視察研修を行い、市内各地の美化活動を学びました。研修後は沖縄県緑の募金を活用した事業として、サンダンカの苗木200鉢を上大謝名区婦人会へ贈呈しました。新しく生まれ変わった上大謝名区公民館を拠点として、花と緑あふれる明るい地域づくりを進めます。



毎月25日は「まちでニコリあいさつ声かけ運動」です。今回、まちニコ大使にFM沖縄の人気パーソナリティの西向幸三さんが任命されました。西向さんは「堅苦しいあいさつをすることが多いが、笑顔であいさつもできれば」と語り、嘉数中学校前で朝のあいさつ運動を生徒たちと行いました。



市消防本部の消防車両は配備後15年が経過していました。平成27年度、高規格救急自動車は特定防衛施設周辺整備調整交付金を、現場指揮車は石油貯蔵施設立地対策等補助金を活用して更新しました。災害等が発生した場合に、速やかに現場に出動し迅速に対応できる環境を維持することができました。



中部地区の6消防機関と浦添総合病院ドクターカーが参加しての中部地区消防総合訓練が沖縄国際大学で実施されました。訓練を通して、指揮命令体制、各部隊運用の確立および応急救護所におけるトリアージなど、各機関が迅速に連携を図ることで、被害の軽減に繋がることが期待されます。



はごろも小学校(高森新一校長)と大山小学校(目取真淳校長)において、6年生を対象にバイキング給食が提供されました。子どもたちは普段に比べ品数が増えたことに大喜びで、小学校最後の給食を楽しみました。



普天間中学校(野原多恵子校長)では、お弁当を通して子どもたちの自立に欠かせない心の成長や家庭での親子の関わりが深まることを期待して「弁当の日」を実施しました。生徒たちはお弁当のおかずを交換したりして、いつもの給食とは違う楽しい時間を過ごしていました。